

# 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 要点記録

## 第 21 回

開催日時	令和5年9月21日(木) 午後6時30分～7時45分	
開催場所	鷺宮区民活動センター分室	
出席者	委員	高橋洋雄、宮内信子、田村邦彦、早船角雄、秋山芳三、山口博史、堀井裕子、黒木伸子、安田秀美、古屋悦代、浦野雅晴、高橋俊之、高橋明、大木美香、渡邊健治 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係
	その他	子ども教育施設整備係
会議次第	<b>【議事】</b> 1 中野区立鷺の杜小学校の校章について 2 鷺宮小学校・西中野小学校の統合に伴う通学安全対策について	

### 第 21 回 鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会 会議要旨

#### 1 開会

委員長

これより第21回学校統合委員会を開催する。本日、傍聴希望者がいるが、傍聴についてこれを許可してよろしいか。

—異議なし—

委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。

#### 2 議事

議事(1) 中野区立鷺の杜小学校の校章について

委員長

議事に入る。「中野区立鷺の杜小学校の校章について」、事務局の説明を求める。

事務局

前回、校章デザインを1点選定いただき、最終デザインや由来等については、委員長、副委員長、学校、事務局に一任いただいたが、デザインと由来が資料1の通りまとまったので報告する。デザインは、応募デザインに近くすべきとの意見を受け、鷺の形は応募デザインを生かし、周りの月桂樹の葉とアルファベットの文字は校旗などに刺繍が可能な範囲で数や大きさを調整した。この校章デザインと由来を統合委員会においての決定とさせていただきたい。後日、統合委員会の協議結果として、学校指定品などとあわせて委員長と副委員長より教育委員会に報告いただき、その後、教育委員会や議会で報告した後、統合委員会ニュースに掲載し公表する予定である。

中野区立鷺の杜小学校の校章について

1 校章デザイン



2 校章の由来

昔からこの地域に訪れていたといわれる美しい鷺を子どもたちに見立て、栄光の象徴である月桂樹の葉は、保護者や地域の人々が集い子どもたちを見守る学びの杜を表しています。

子どもたちが輝かしい未来へ向かって、この杜から大きく羽ばたいていってほしいという願いを込めました。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

由来について、鷺はまだ飛来しているので過去形ではなく、「訪れている」でいいのではないか。

委員長

西中野小学校の開校50周年記念のときも鷺が飛来した。

事務局

皆さんの意見が一致するようであれば、「昔からこの地域に訪れている美しい鷺を」とする。

委員

校名の由来との整合性を確認した方が良い。

事務局

校名の由来では、「統合新校の周辺はかつて田んぼが広がる青々とした緑豊かな地域で、田や川に多くの鷺が訪れていました」としている。

委員

校名の由来にある鷺は「かつて田んぼが広がる」に繋がるので過去形だが、校章の由来では現在形でも構わないと思う。

委員長

では、「この地域に訪れている美しい鷺を」としてよろしいか。

—異議なし—

委員長

では、この校章デザインと由来を統合委員会の協議結果として、後日教育委員会に報告する。

議事(2) 鷺宮小学校・西中野小学校の統合に伴う通学安全対策について

委員長

次に「鷺宮小学校・西中野小学校の統合に伴う通学安全対策について」、事務局の説明を求める。  
学校再編・地域連携担当課長

■資料3「鷺宮小学校・西中野小学校の統合に伴う通学安全対策について」を説明。

資料3

令和5年(2023年)9月1日  
子ども文教委員会資料  
教育委員会事務局子ども・教育政策課  
子ども教育部育成活動推進課  
教育委員会事務局学務課

### 鷺宮小学校・西中野小学校の統合に伴う通学安全対策について

「中野区立小中学校再編計画(第2次)」に基づき、鷺宮小学校と西中野小学校は令和6年4月1日に統合し、旧第八中学校の位置に統合新校(鷺の杜小学校)が開校する予定である。

西武新宿線以南に在住している西中野小学校の児童は西武新宿線の踏切を横断して通学することになるため、以下のとおり安全対策を実施する。

#### 1 踏切を横断する児童数(令和6年度推計)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
踏切横断児童数	40	42	39	45	46	31	243
【参考】鷺の杜小児童数	96	85	88	115	90	94	568

#### 2 通学に使用する踏切について

次の理由により、通学区域内にある踏切4か所のうち、鷺ノ宮2号踏切(1か所)を通学に使用する踏切とする。

- (1) 同踏切は自動車の通行が規制されているため、児童と自動車の交錯による危険性が少ないこと。
- (2) 電車の事故等により踏切遮断機が上がらず、児童が踏切を横断できない場合も、学校の教職員が状況を把握し、必要な対応がしやすいこと。
- (3) 区による統合新校への最短経路による分析及び学校・PTAによる想定では、鷺ノ宮2号踏切を横断する児童が68%程度を占めていること。
- (4) 踏切付近に児童の滞留場所を確保しやすいこと。
- (5) 「3D画像解析踏切監視システム」※が設置されていること。

※ 踏切内に取り残された人を正確に検知して、列車の運転士に踏切に異常があることを知らせるシステム

### 3 通学安全対策

#### (1)民間警備員等の配置

児童が安全に踏切を横断できるよう、通学に使用する鷺ノ宮 2 号踏切(1 か所)及び滞留場所に民間警備員等を配置する。

- ① 配置場所 鷺ノ宮 2 号踏切
- ② 配置人数 4 人
- ③ 配置時間 7 時から9時(登校時)及び13時から17時(下校時)
- ④ 業務内容 踏切横断時の安全確認及び横断誘導、滞留場所における児童及通行する自転車の誘導

#### (2)滞留場所の確保

鷺ノ宮 2 号踏切前付近の鷺宮西住宅敷地等に滞留場所2か所を設ける。詳細は別紙のとおり。

#### (3)その他の安全対策

##### ① 早朝登校の対応

踏切の開く時間が長い時間帯にも児童が登校できるよう、登校時間前から南側校舎校庭で待機できるようにする。

##### ② 児童に対する安全指導の実施

学校において、セーフティ教室など、さまざまな機会をとらえて、踏切の安全な横断方法など、安全指導を実施する。

##### ③ 学童クラブ利用児童の安全確保

新年度(4月1日)から始業式前日までの5日間は、登校時間に民間警備員等を配置するほか、学童クラブの終了時刻に滞在する利用児童で、住居が白鷺1～3丁目の児童については、年度当初から一定の期間、職員が引率し、踏切を横断させる。

##### ④ 地域住民・各種団体への児童の見守り要請

町会等へ児童の見守りの協力を要請し、家庭・地域・学校が連携して子どもたちの安全を確保するよう努める。

### 4 今後の予定

令和5年9月9日 保護者説明会の実施

---

#### 委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

#### 委員

資料に、「西中野小学校の児童は西武新宿線の踏切を横断して」と書かれているが、鷺宮小学校ではどのように説明したのか。

#### 学校再編・地域連携担当課長

鷺宮小学校にも、鷺ノ宮駅東側の跨線橋や1号踏切を横断して通学している児童がおり、通学路として1号踏切が指定されている。そのため鷺宮小学校の中杉通り東側の児童については1号踏切も利用可能と考えていると説明した。

#### 委員

現在西中野小学校に通う児童は、1号踏切を通学路として利用することはできないのか。

学校再編・地域連携担当課長

中杉通りの西側に住んでいる児童は2号踏切を横断して通学いただきたいと考えている。そのことは9月9日の説明会のときにも質問があり説明した。

委員

今の説明だと、鷺宮小学校と西中野小学校を分けているようだ。通学路は西中野小学校に通っていた子は2号踏切で、鷺宮小学校に通っていた子は1号踏切も良いとするという説明は西中野小学校では誰も賛成を得られないだろう。2号踏切で滞留するのが嫌だから1号踏切を渡らせてほしいという方は多いと思う。西中野小学校の説明会では2号踏切を通学路とすると言われたのに、鷺の杜小学校の通学路で考えると2つある。1号踏切も通学路にするということになると、資料にある監視システムなどの2号踏切を使用するとした理由はなんなのかなとなる。

委員

通学路は、学校とPTAで決定していく。鷺宮小学校には美鳩小学校区から1号踏切を横断して通っている児童もあり、そういった子をわざわざ中杉通りを渡って2号踏切まで歩かせるというのは、現実的ではないので1号踏切を使用するのが良いと考えている。西中野小学校の児童についても1号踏切の使用を希望する声が出てくるかもしれない。3号踏切や4号踏切を渡らせるとなった場合は、横断後に車両規制のない道を通る場合もあるので安全確保が必要になるだろう。通学路はまだこれと決まったわけではないので、ご意見をいただき、校長や学校間で話し合って、鷺の杜小学校として一体的に考えていく。

委員

通学路はいつまでに申請をするのか。

委員

12月までに警察に届出をしなくてはならず、それまでに踏切だけでなく、鷺の杜小学校全体の通学路を決めなくてはならない。2校の通学路を併せて再編しなければいけないので、時間もかかる。PTAの方に調査や検証をしていただき、学校としては2号踏切が安全だろうと進めてきたが、例えば1号踏切を使えば、滞留人数が分散され、安全が確保されるというのであれば、それも検討する余地があると考えます。

委員

通学路を使う場合と使わない場合とで、事故に遭った場合などに違いがあるのか。

委員

中野区立学校の子どもたちは、日本スポーツ振興センターの災害共済に加入しており、通学路を歩いて登下校している場合は給付対象となるが、家庭の都合により通学路以外の場所へ行った場合などは対象外となる可能性があるのもそういった違いはある。学校側としては、なるべく自宅に近いところで通学路に入るようお願いしている。

委員

白鷺三丁目町内には、現在3号踏切や4号踏切を利用して鷺宮小学校に通っている児童がおり、新校に行くにも2号踏切よりそちらのほうが近い。保護者の責任下であれば2号踏切を通らなくても良いのか。

委員

どの踏切を通学路に指定するかも今後の検討事項になる。

委員

踏切が開く時間が短い朝の時間帯に、2号踏切を240名ぐらいの子が渡りきれぬのか疑問である。雨の時には更にスペースが必要になるが、その辺はシミュレーションしたのか。

学校再編・地域連携担当課長

今年の3月に踏切の開閉時間調査を実施した。2号踏切は1時間で十数回開き、1回あたりの開放時間は、1分未満もあれば、2分程度開く時間帯もあった。分散して登校すれば、渡れると考えている。

委員

子どもが多く集まると近隣住宅からうるさいという苦情も出るかもしれませんが、そういったことを考えても2号踏切だけで良いのか疑問である。3号踏切に比べ、4号踏切は滞留場所はないが使いやすいと思うので、2号踏切と4号踏切両方を通学路にすることも考えてもいいのではないかと。予算の都合上警備員の数が4人となったので、配置できるのは2号踏切しかないとなったのではないかとこの話を聞いたがそうなのか。

学校再編・地域連携担当課長

まだ警備員4人という予算は決まっておらず、警備員の数から踏切が決まったわけではない。どこを渡るかということを考え、そこに必要な警備員を配置していく。

委員

もし、2号踏切と4号踏切を通学路にするとした場合、警備は2号踏切に4人、4号踏切に3人で、計7人ということも可能なのか。

学校再編・地域連携担当課長

人数は未確定である。

委員

9月9日の保護者説明会後に集めた意見の中に、検証したという保護者がいた。実際に朝、10数名で集まって検証し、それを元に計算して出したものだが、それによれば条件が整っていれば渡りきれるという結論だった。ただ、雨天時などスムーズに行かない場合もあるだろう。なので、一つの方法として登校時間を分散させるため、開いている時間が長い時間帯に踏切を渡り、早めに学校に行って待つという形をとれないか検討しているところである。2号踏切に絞ったのは、滞留場所の問題が大きい。3号踏切、4号踏切は滞留場所を確保できないので、待っているほうが危ないのではないかとこの意見もあった。

委員

どの踏切を渡らせるかよりも、両校で説明している内容が違っていることが問題であると思っている。西中野小学校では2号踏切しか渡らせないと資料に書いてあるのに、鷺宮小学校では1号踏切を渡れると言っており、2校で相違がある。それが一番、保護者からすると不信感が出てしまう。1号踏切を通して通学したほうが早いという西中野小学校の保護者に対して、PTAは、何と説明すれば良いのか。滞留場所での安全を考えると2号踏切が一番良いだろうという話をしたのは事実であり、安全対策という意味ではこの資料の内容で良い結果になったと思っていたのに、鷺宮小学校では1号踏切も通って良いと説明したとは大きな問題である。

学校再編・地域連携担当課長

9月9日の説明会では、両校同じ資料で説明している。西中野小学校でも1号踏切の話があり、鷺宮小学校に通っている中杉通り東側の子については1号踏切を渡ってもらうことを考えているという説明をした。

委員

なぜ資料には1号踏切の使用について書いていないのか。区の方針として、今現在、1号踏切と2号踏切が通学路なのか。

学校再編・地域連携担当課長

通学路はまだ決まっていない。この資料は、新たに西中野小学校の児童が踏切を横断するに当たっての安全対策としてまとめたものなので、中杉通り西側の西中野小学校の児童は2号踏切を使用してほしいということ載せている。

委員

鷺宮小学校、西中野小学校別々ではなく鷺の杜小学校として考えるべきではないか。西中野小学校向けの説明と鷺宮小学校向けの説明の仕方があるのはおかしい。

学校再編・地域連携担当課長

鷺の杜小学校の通学路は、今後説明する。現時点では、通学路が決まっておらず、前提として安全対策について考えているところである。

委員

保護者説明会に来られた方は、自分の子どもがどうやって鷺の杜小学校に通うのかを知りたかったと思う。資料を見ると、西中野小学校の子は1号踏切の方が近くても、渡れないというように読み取れる。今後、1号踏切も使えるとなるとなったら、今回の説明会後に保護者が2号踏切しか使えないことに対して一生懸命意見を出したことも、意味がなくなってしまう。

委員

2号踏切の横断を前提として、警備を配置する人数等について区に予算要望していただいたが、今後、通学路を決める段階では、踏切の問題や、子どもたちにとってどこが近いのか、どこがより安全なのかということを含め、2人の校長で鷺の杜小学校として一体的に考えていく。1号踏切は近くの交番に警察官がおり、大人の目が多い。また、北から南に自転車が行く自転車は多いが、南から北に流れる自転車はそれほど多くないという話も聞く。

委員

1号踏切も使用するとしたら1号踏切にも見守りをつけるよう検討しているのか。1号踏切には警察官がいるから安全対策をしないというのはおかしいのではないか。

委員

跨線橋を渡る子もいるからではないか。

委員

今は跨線橋を渡るか親と一緒に踏切を渡っているのかもしれないが、鷺の杜小学校で1号踏切も渡れるとなったら、人数が増えるので安全対策はした方がいいのではないか。使用する踏切については町会長会議でも話を聞いたが、完全に2号踏切だけだと思っていたので、1号踏切も候補としてあると聞いて驚いている。誤解している人も多いと思うので、もう1度修正して説明したほうが良いのではないか。

委員

どこが一番安全かを考え2号踏切を使用するとなったと思うが、区域外就学で美鳩小学校区に住む子が、中杉通りを通り、川を超えて、西側まで行って2号踏切を渡るというのは現実的ではない。今後更に区域外就学の子が増えた場合、多くの子どもが2号踏切に滞留するよりは、現在と同様1号踏切を使用する方が良いという話をした。もし安全確保できるので他の踏切も使用したいという意見があれば通学路検討の際に考えていく。あわせてどの門から入るかというのも決めていかなければいけない。

委員

説明会后、PTA役員にもたくさんの方から質問されるが、2号踏切が一番安全と判断し、ここを選択したと説明している。これがやはり他の踏切も使えるとなると話が違ってくる。他の踏切も使える方が、そこに家が近い方は良いと思うが、警備はつくのか。

委員

今は1号踏切に、保護者の見守りやシルバー人材センターの交通安全誘導員はいない。警備の人数は、無制限に増やせるものではないだろう。

委員

1号踏切には関東バスの警備員も警察官もいて、安全が保たれていると思うので、1号踏切も安全ではないか。

委員

通学路としては、安全を考えた上での2号踏切と、これまでも使用している1号踏切を指定するとしても、見守りを付けられるかは別の話だろう。

委員

安全さえ担保できればどの踏切でも良いと思うが、安全対策が2号踏切に偏っており、1号踏切を使うのであれば1号踏切の安全対策はどうするのかと絶対言われるだろう。

学校再編・地域連携担当課長

通学路を決める上で判断することになる。

委員

2号踏切を使用するから安全対策をすると説明されたのに、まだ通学路は決まっておらず他の踏切も使用する余地があるとなると説明は何だったのかとなる。

委員

資料で、「2号踏切を通学に使用する踏切とする」と断言している。今後、保護者から「何で1号踏切を渡るのか」と聞かれた際に、PTAは説明できない。

委員

今の流れでいけば、1号踏切も安全確保して渡らせるしかないと思うので、資料の内容については、まだ通学路は決まっていないため、これからさらに詰めていくというような修正の説明をしたほうがいいのではないか。

委員

資料に書かれていること以外に区が検討していることがあるのが、問題だと思っている。1号踏切でも川沿いなどは車もあまり通らないので滞留場所は確保できるだろう。1号踏切の使用と安全対策も資料に書くことはできたと思う。

委員

資料に「西武新宿線以南に在住している西中野小学校の児童は西武新宿線の踏切を横断して通学することになるため、以下のとおり安全対策を実施する」とあるが、鷺の杜小学校として一体的に考えるべきだっただろう。1号踏切については、警察官がおり、大人も多いので、何かあれば子どもを守ってくれるだろう。

委員

1号踏切は、駅があり、車両もゆっくり発進するので、そこまで危険ではないと思う。それよりも、2号踏切を渡り切れるかが心配である。踏切のために遅刻した子が授業の冒頭を受けられないといったことを危惧している。授業は全員一緒に受けられるようにすべきであり、そういった場合は授業の時間を遅らせるのかなども考えなくてはならない。地域の人などいろいろな方の力が必要だろう。開校までもうすぐなのに、まだこういう議論をしていることに不安を感じる。2号踏切を渡ったところの土地が売りに出されているので、その土地を区が買うかクラウドファンディングなど何かやってくれないかなど、いろいろ考えられる。

委員

資料の(3)「その他の安全対策」①「早朝登校の対応」に「踏切の開く時間が長い時間帯にも児童が登校できる」とあり、早く来て渡れるうちに渡るというのは良いが、その場合に「登校時間前から南側校舎校庭で待機できるようにする」というのは、冬や、雨が降った場合に大変なので、校庭だけでなく、校舎にも入れるようにしてほしい。

委員

暑い日や雪の日に外で待たせておくのも心配であり、それを誰が見ているのかということもあるので、どこかの部屋にいてもらい、見守りをつけることも検討している。分散されるよう、できるだけ早い時間帯に来て、例えば宿題などができれば子どもとしても良いかもしれない。

委員

ぜひお願いします。

委員長

本日の統合委員会はこれをもって終了する。